



大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時提供先：文部科学記者会、科学記者会)



2022年10月25日
大阪公立大学

日本人は忖度のしすぎ？ 『人助け』に関する日本と米国の文化的差異を調査

<本研究のポイント>

- ◇日本人大学生は、相手から援助を求められているかが不明確な場合、米国人大学生と比べて、援助提供を極端にためらうことを明らかに。
- ◇明確な援助要請がある場合には、援助提供に日米差はない。

<概要>

大阪公立大学大学院 文学研究科 橋本 博文准教授らの研究グループは、2つの研究において、日本人大学生と米国人大学生の社会的援助^{*1}の文化的差異が、他者からの援助要請が不明確な場合においてのみ顕著に現れることを明らかにしました。

研究1として、日本人大学生183名を対象に先行研究を参考にした調査を行ったところ、親しい他者からの援助要請が不明確な場合では、援助提供を顕著にためらう、という可能性が示されました。この可能性をより直接的に検討するため、研究2では、日本人大学生118名、米国人大学生52名を対象に、親しい他者がストレスを経験している状況を複数想定させ、その状況に身を置いたとしたらどうするかを質問紙で尋ねました。その結果、たとえ親しい他者が困っていることをわかっているにもかかわらず、日本人大学生は米国人大学生と比べて、明確に援助を求められない限りは援助を提供しない傾向があることが明らかになりました。また、明確な援助要請がある場合には、援助提供に日米差はありませんでした。

本研究成果は、2022年10月19日(水)に、国際学術誌「Frontiers in Psychology」(IF=4.232)に掲載されました。

忖度自体は、決して悪いことではないはずですが、お互いに忖度しすぎることで、日本人の間の人助けのハードルが高く設定されているようです。忖度する人の心のしくみを前提に、遠慮することなく人助けをしやすくなるような社会のしくみを考える必要があるのではないのでしょうか。



橋本 博文准教授

<研究の背景>

文化心理学の研究によると、日本人をはじめとする東アジア文化圏の人たちの間では、社会的援助（ソーシャル・サポート）の要請がなされにくいこと、また、他者からの援助をあまり頼りにしないことなどが明らかにされています（e.g., Taylor et al., 2004）。社会的援助の文化差を扱う研究はすでに数多くなされていますが、本研究では先行研究を踏まえつつ、援助を要請する側と提供する側の双方の視点を同時に分析することで、社会的援助に対する日本人大学生と米国人大学生の考え方の違いを検討しました。

<研究の内容>

研究1では、Chenら（2012）の追試研究として、日本人大学生183名を対象にアンケート調査を実施したところ、「親しい他者からの援助要請が不明確な場合では、援助提供を顕著にためらう」可能性があることを示しました。研究2では、研究1の結果の頑健性を確かめるために、場面想定法の質問紙調査を日本人大学生118名、米国人大学生52名を対象に実施しました。その結果、日本人大学生の間では、たとえ親しい他者が困っていることを認識していたとしても、その相手から明確に援助を求められないかぎりには援助提供をためらう傾向があることが示されました。これに対し、米国人大学生は躊躇せず、親しい他者が困っていることを認識すれば、援助を提供する傾向も示されました。さらに、援助要請が明確な場合は、日米差は見られず、日本人大学生も米国人大学生同様に援助を提供することがわかりました。

<期待される効果・今後の展開>

日本人が人助けをためらいがちであることは、従来の文化心理学研究においても繰り返し示されていますが、本研究の結果は、人助けをためらう理由が日本人のつめたい心のあり方によって生み出されているというよりも、他者からの援助要請が不明確である状況によって生み出されていることを示すものです。状況の要因に影響を受けやすいという日本人の人助けのあり方を前提に置けば、どうすれば日本人の援助提供を促していけるのか手立てを考えることができます。そうした具体的な手立てについて、本研究の知見を前提に考えていくことは、今後の展開の一つであると言えます。

<資金情報等>

本研究は、サントリー文化財団研究助成「若手研究者のためのチャレンジ研究助成」および吉田秀雄記念事業財団助成研究の支援を受けて実施したものです。

■掲載誌情報

【発表雑誌】Frontiers in Psychology (IF = 4.232)

【論文名】Solicitation Matters: Cultural Differences in Solicited and Unsolicited Support Provision

【著者】Hirofumi Hashimoto, Takuma Ohashi and Susumu Yamaguchi

【論文URL】<https://doi.org/10.3389/fpsyg.2022.953260>

<用語解説>

※1 社会的援助（ソーシャル・サポート）…社会的関係の中でやりとりされる支援のこと

【研究内容に関する問い合わせ先】

大阪公立大学大学院 文学研究科

准教授 橋本 博文

(はしもと ひろふみ)

T E L : 06-6605-2376

E-mail : hirofumihashimoto@omu.ac.jp

【報道に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課

担当 : 久保

T E L : 06-6605-3411

E-mail : koho-list@ml.omu.ac.jp